

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	し尿処理事務に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	2	3	
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	クリーン推進課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	小高 仁志			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	合併浄化槽への転換を促進するため、補助制度の見直し及び周知PRを図る。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	単独浄化槽及び汲取りから合併浄化槽への転換を促進するため、補助制度の周知PRを図る。
②①に基づく取り組み結果	補助対象地域の単独浄化槽使用者及び汲取り使用者にPR文書を郵送し、目標の18基に転換補助を実施することができた。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①汲取り便槽を使用している市民等、②下水道法事業計画認可区域を除く市域に合併浄化槽を設置しようとする者	意図(対象をどうするのか)	①し尿による水質汚濁の防止及び生活環境補の保全、②家庭から出る生活雑排水の水質汚濁物質の軽減
②事務事業の概要	し尿収集運搬及びし尿処理手数料徴収を行う。また水質汚濁を防止するため合併浄化槽の設置を補助する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	長期的には、公共下水道の整備により汲取り世帯及び単独浄化槽世帯の減少が見込まれる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	合併処理浄化槽を新たに設置するものに、設置費の一部について補助を行った。(18件)				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i し尿収集・運搬率	100	100	100	% 業務取得
	ii し尿処理手数料徴収率	97.6	98	97.8	% 業務取得
	iii 補助金利用設置合併浄化槽基数	11	18	18	基 業務取得
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)	91,909	92,972	金額(千円)	内容	94,940
国支出金(千円)	2,216	2,311	11,038	合併浄化槽設置補助	3,074
県支出金(千円)	4,058	4,166			4,754
市債その他(千円)	16,076	15,038			14,187
一般財源(千円)	69,559	71,457			72,925

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	汲取り及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換の件数が伸び悩んでいる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	合併浄化槽設置補助事業は効果的な補助制度とするため、精査検証を行っていく。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由		流用・充当			
		平成28年度への繰越額(単位:千円)			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(し尿処理等)	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	2	3	
政策	22快適な暮らしの環境をつくります	担当課室	クリーン推進課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	小高 仁志			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	あじさいの脱水方法の改善及び汚泥の焼却方法等について、検討する。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	アクアセンターあじさいの効果的な修繕計画について環境衛生組合とともに検討する。
②①に基づく取り組み結果	環境衛生組合及び構成市で、あじさいの修繕計画を検討するなかで情報共有を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	①公共下水道を使用していない者、②柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合	意図(対象をどうするのか)	し尿及び浄化槽汚泥の適正処理
②事務事業の概要	構成団体(柏市沼南地区・白井市・鎌ヶ谷市)の地区内で排出されたし尿、浄化槽汚泥を適正処理するために建設された施設の建設費償還金及び施設維持管理等の経費を負担する。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	今後、施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。長期的には、公共下水道供用開始区域の拡大により処理量の減少が見込まれるが、災害時の対応において位置づけの再評価が必要とされる。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	し尿処理費用及び、処理施設建設費償還金に係る負担金を支出した。				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i 処理率	100	100	100	% 業務取得
	ii				
	iii				
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)	171,835	194,902	金額(千円)	内容	186,982
国支出金(千円)			37,889	管理費	
県支出金(千円)			157,013	し尿処理費	
市債その他(千円)					
一般財源(千円)	171,835	194,902			186,982

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	脱水汚泥焼却炉のほかにも、各設備の老朽化が進んでいる。今後は必要な修繕等を計画的に実施していく。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)				
	計画事業費	予算額		決算額	
②計画に対する事業実績	0	当初		0	H26からの繰越
		H26⇒27繰越			
③達成状況		補正			現年分
④未完了・非着手の理由	流用・充当				
	平成28年度への繰越額(単位:千円)				

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	狂犬病予防等に要する経費	会計	款	項	目	多額 経費
		一般	4	1	1	
政策	22快適な暮らしの環境をつくれます	担当課室	環境課			
施策	225環境衛生の充実	担当課室長	山崎 宏			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	低下している狂犬病予防注射の接種率を上げるため、未接種犬の飼い主に対して、ハガキによる督促等を今後も行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	狂犬病予防注射の接種率を上げるため、未接種犬の飼い主に対して、ハガキによる督促等を実施する。
②①に基づく取り組み結果	登録数 5,723頭(H28.3.31現在) 注射済票発行数 4,206頭(H28.3.31現在) 接種率 73.49%(申請数:市把握分のみ)		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	市内畜犬	意図(対象をどうするのか)	狂犬病の発生を予防し、その蔓延を防止及び撲滅する。
②事務事業の概要	毎年4月に獣医師会と協力して市内各所で集団登録と狂犬病予防注射を行っており、集団登録及び予防注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札等の交付を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	狂犬病予防法により、犬の登録及び狂犬病予防注射の接種が義務付けられているほか、動物の愛護及び管理に関する法律の改正により、動物の個体識別措置(マイクロチップ)普及促進が決定している。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	別添のとおり						
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠
	i	畜犬登録数に対する予防注射接種率	74	74	73	%	業務取得
	ii						
	iii						
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算	
事業費(千円)	2,670	2,866	金額(千円)	内容		3,034	
			1,834	非常勤職員賃金			
			352	印刷製本費			
			80	鑑札等作製委託			
	2,670	2,866	21	畜犬登録促進指導委託		3,034	

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	狂犬病予防注射の接種率を上げる。					
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価	6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い		
③上記評価の理由	法令により、市に義務付けられた業務であるため、今後も継続していく必要がある。					

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
	計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績		当初		H26からの繰越		
		H26⇒27繰越				
③達成状況		補正		現年分		
		流用・充当				
④未完了・非着手の理由	平成28年度への繰越額(単位:千円)					